

Ⅲ 事業の概要と水道局の組織

1 上水道事業の概要

千葉県営水道は昭和9年に創設、昭和11年に給水を開始して以来、県政の発展に合わせて数次にわたる事業拡張を実施しながら、80年以上にわたり市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない水の供給に努めてきました。水道水の給水を行う水道部では11市を給水区域とし、約300万人超の方々に安全で良質な水を供給しています。

科目	平成30年3月末現在
給水人口	3,027,417 人
給水戸数	1,466,372 戸
給水柱数	1,383,363 柱
普及率	96.5 %
導・送・配水管布設延長	9,099,636 m
施設能力	1,254,000 m ³ /日
給水量	324,104,429 m ³
有効水量	317,010,190 m ³
有効率	97.8 %
有効収水量	303,825,903 m ³
有効率	93.7 %
一日最大給水量(7月2日)	1,033,392 m ³
一日平均給水量	887,957 m ³

ちば野菊の里浄水場



松戸市栗山478-1
敷地面積 125,013m²
給水区域 松戸市、市川市、船橋市の一部
取水場所 江戸川
給水能力 60,000m³/日
給水開始 平成19年10月

栗山浄水場



松戸市栗山198
敷地面積 43,662m²
給水区域 松戸市、市川市、船橋市の一部
取水場所 江戸川
給水能力 186,000m³/日
給水開始 昭和33年6月

浄水場別施設能力

平成30年3月現在

水系	浄水場	施設規模 (m ³ /日)	構成比 (%)
河川表流水系	利根川水系 柏井浄水場	530,000	42.3
	利根川水系 北総浄水場	126,700	10.1
	利根川水系 栗山浄水場	186,000	14.8
	利根川水系 ちば野菊の里浄水場	60,000	4.8
	利根川水系 福増浄水場	90,000	7.2
水道用水供給事業体からの受水	北千葉広域水道企業団 (利根川水系江戸川)	[沼南給水場]	201,300
	君津広域水道企業団 (小櫃川水系小櫃川)	[姉崎分場]	60,000
	合計	1,254,000	100.0

- 栗山浄水場とちば野菊の里浄水場、北総浄水場では、排水処理施設の運営をPFI事業で行っていますが、当該事業に係る電気使用量、発生土量の数値については、本報告書には計上されていません。
- 北船橋給水場と沼南給水場の施設は、北千葉広域水道企業団との共有となっており、両施設の使用電力量には、同企業団の使用分も含まれています。
- []は当局の各企業団からの受水施設です。



上水道事業では、5か所の浄水場で水をつくっています。このほか広域水道企業団でつくった水も買って利用しています。

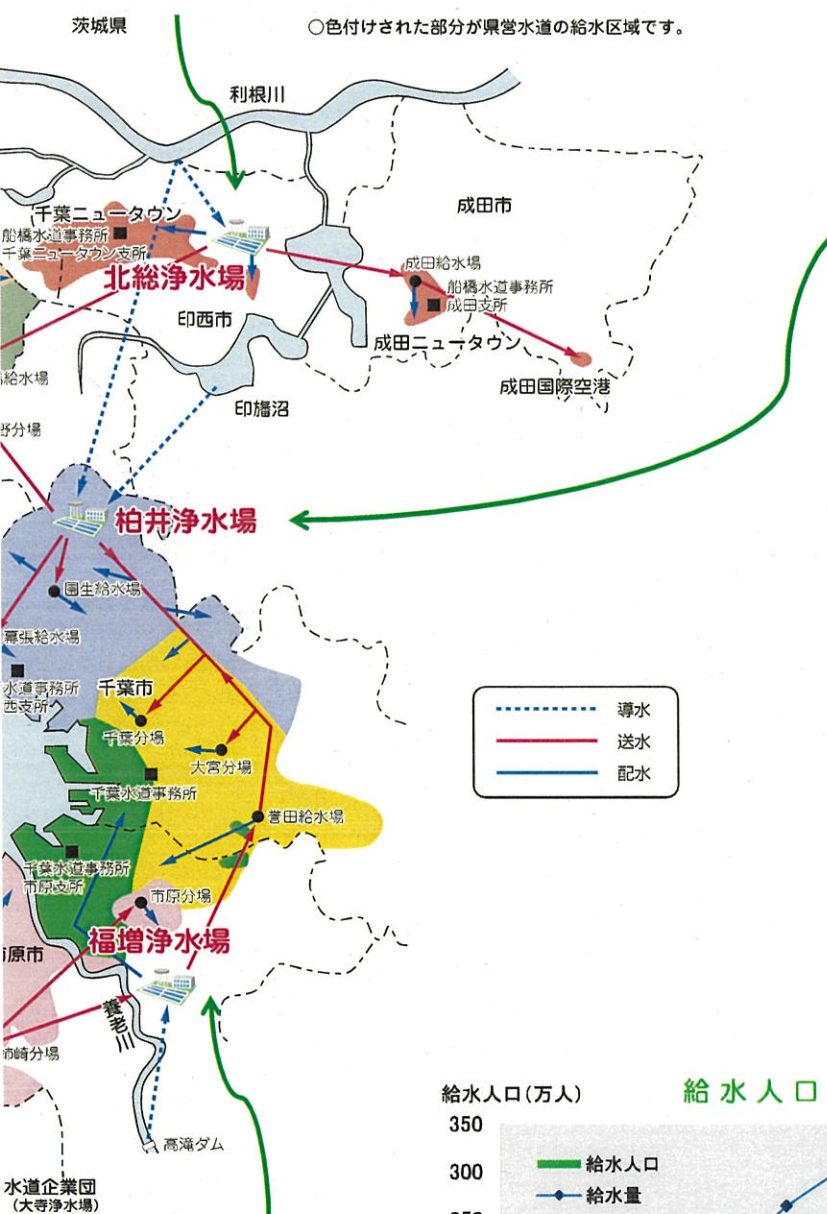
福増



北総浄水場



印西市竜腹寺296
敷地面積 129,519m²
給水区域 浦安市、市川市、船橋市、習志野市の一部、千葉・成田ニュータウン
取水場所 利根川
給水能力 126,700m³/日
給水開始 昭和50年6月



浄水場

市原市福増47
敷地面積 82,362m²
給水区域 千葉市の一部、市原市の一部
取水場所 高滝ダム
給水能力 90,000m³/日
給水開始 平成5年6月

事業の概要と水道局の組織

柏井浄水場



千葉市花見川区柏井町430
敷地面積 258,603m²
給水区域 千葉市、市原市、船橋市、市川市、浦安市、習志野市の一部
取水場所 東側施設：印旛沼、西側施設：利根川
給水能力 530,000m³/日
給水開始 昭和43年7月

地図の色でどこから来て、どこでつくられているかわかります

江戸川	ちば野菊の里浄水場	
江戸川	栗山浄水場	ブレンドされています
江戸川	ちば野菊の里浄水場	ブレンドされています
江戸川	北千葉広域水道企業団	
利根川	北総浄水場	
江戸川	栗山浄水場	ブレンドされています
江戸川	ちば野菊の里浄水場	ブレンドされています
利根川	北総浄水場	
利根川	柏井浄水場	ブレンドされています
利根川	印旛沼	
江戸川	北千葉広域水道企業団	
利根川	印旛沼	ブレンドされています
利根川	印旛沼	ブレンドされています
高滝ダム	福増浄水場	
利根川	柏井浄水場	ブレンドされています
小櫃川	君津広域水道企業団	
高滝ダム	福増浄水場	ブレンドされています
小櫃川	君津広域水道企業団	ブレンドされています
小櫃川	君津広域水道企業団	

ブレンド：別々につくられた水が、給水場で1つに集められ各家庭に配られます。

給水人口と給水量の推移

